



公益財団法人
加古川市国際交流協会
Kakogawa International Association

広報

2011.4
vol.20

Public
Information

CONTENTS

2010年度 国際交流講座事業紹介	2-3
ふれあい国際料理講座 レシピ紹介	
2010年度 国際交流海外都市交流事業紹介	4-5
特集 加古川市障がい者海外派遣	6
I LOVE KAKOGAWA	7
インフォメーション	8



上から
障がい者海外派遣「オークランド動物園にて」
青年海外派遣「マリンガ市駒米農場にて」
外国人のための日本語講座「授業風景」

上から
ワイタケレ市学生海外派遣団「山手中学校にて」
加古川市政60周年記念訪問団「小柳公園にて」
中学生海外派遣「マオリのショーにて」

講座

事業紹介

4月

外国人のための日本語講座
開講(4/8~翌3/13)

在住外国人が年々増加する中、開講17年目を迎え、ますます需要の高まっている本講座。今年度は、10カ国51人の外国人が受講しました。協会ボランティア講師の指導のもと、暑い日も寒い日も教室に通って熱心に学んでいるうちに、最初は全く日本語が話せなかった人も日常会話ができるようになり、「もっともっと日本語が上手になりたい」とがんばっています。また、夏には七夕まつりを開催し、歌や盆踊りを楽しんだり、冬にはクリスマスパーティーでクラスを越えて親睦を深めました。また、新春に参加した茶会の席では、作法を丁寧に教えてもらい、日本文化を肌で感じることができました。講座最終回では日本語のスピーチで一年の成果を発表しました。



5月

語学講座開講(5/11~9/3)



平成12年度より始まった協会主催の語学講座。今年度は、やり直し初級英会話、中級英会話、初級中国語の3講座を開講しました。この講座をきっかけに自主

グループを結成し、15回の講座終了後も多くの受講生が学習を継続しています。

ふれあいティータイム(6/5)

市内近郊在住の外国人をお招きし、出身国の話をしていただくふれあいティータイム。今年はカナダ出身のロバートさんをゲストスピーカーにお招きして、カナダの生活・文化などを100枚以上のスライド写真を用いて紹介していただきました。

参加者にはカナダに関するクイズに挑戦してもらったり、質問コーナーではカナダの伝統料理や言葉、生活に関する質問が出るなど、異文化を学びながら交流を楽しみました。



6月

ふれあい国際料理講座
(10/24・31、11/7)

10月 11月

今年度は、ガーナ、台湾、ブラジル料理に挑戦しました。日本料理とは異なった味つけや調理方法に、毎回新鮮な驚きがありました。会食中に各講師の方からその国の文化や家庭生活など様々な話を聞くことができ、料理を通じた身近な国際交流を楽しむ機会となりました。多めにできた料理は持ち帰り、その味を家庭でも楽しめたようです。

クイズ 今回作ったメニューからの出題です。何問解けるかな？

- ①ガーナ料理で作ったビーンズケーキにはひよこ豆を使用しましたが、本来ガーナでは黒目豆を使用します。その見た目から日本語では別名何と呼ばれているでしょうか？
- ②台湾料理「冬瓜湯」は、ホタテやしいたけ、金華ハムから出汁をとった冬瓜のスープですが、台湾では主にどんな時に振舞われる料理でしょうか？
- ③ブラジル料理「ヴァタパー」とは、野菜や肉をココナッツミルクと一緒に煮込んだものをご飯にかけて食べる料理ですが、ある食材を加えることによって鮮やかな黄色になります。その食材とは？

※答えは3ページ下

平成23年度
各種講座
年間計画
(予定)

4月 外国人のための日本語講座開講(全40回)

5月 語学講座3講座開講(各15回コース)

6月 ふれあいティータイム

10月 国際協力セミナー

10月 ふれあい国際料理講座

1月 日本語教育ボランティア養成講座

10月 国際協力セミナー (10/3・17)



第1回目はNPO法人でフィリピンの貧しい子どもたちに支援を行っている団体、第2回目は国際協力機構(JICA)で青年海外協力隊としてカンボジアで活躍された方の体験談を通じて、「身近な国際協力」について考えるセミナーを開催しました。訪れる機会の少ない発展途上国の実情に、考えさせられることの多い貴重な話を聞くことができました。

2月 日本語教育ボランティア養成講座 (2/5・12・19・26、3/5・12・19)

外国人に日本語を教える指導者を養成する本講座。今年度も定員の30名を上回る応募がありました。この講座では、受身で講義を聴くだけでなく、グループに分かれ外国人に生徒役で参加してもらい模擬授業を行うなど、実践的で密度の濃い授業が展開されました。講座を修了した受講生の多くは、協会主催の日本語講座やプライベートレッスンでボランティア講師として活躍されています。

参加者の声

- 日本語に対する難しさや他言語との違いなど、いろいろな発見がありました。
- 基礎から丁寧に教えていただき、時にはユーモアを交えた講義は大変良かったです。
- 日本語学習者が間違いやすいポイントの紹介や例が多く、わかりやすい講義でした。
- ボランティアに参加して、日本語を必要としている外国人のために役に立てたらと思います。



ふれあい国際料理講座のレシピの中から「ブラジル料理」を一品ご紹介します



タニア さん

ヴァタパー Vatapá



一 材 料

- | | |
|---------------------|--------|
| ●鶏むね肉 | 1枚 |
| ●たまねぎ | 1個 |
| ●赤ピーマン | 1個 |
| ●トマト | 1個 |
| ●にんにく | 5かけ |
| ●ココナッツミルク | 200ml |
| ●カロチンスパークイン(デンデオイル) | 50ml |
| ●しょうが | 1個 |
| ●塩 | 大さじ1/2 |
| ●こしょう | 少々 |
| ●タバスコ | 大さじ1 |
| ●マンジョーカ芋の粉 | 適宜 |
| ●緑の野菜 | 彩り用 |

作り方

- ① 米を洗って、炊いておく。
 - ② 鶏むね肉をゆで、小さく裂く。ゆで汁は置いておく。
 - ③ ミキサーに赤ピーマン、トマト、にんにく、ココナッツミルク、カロチンスパークイン、しょうが、塩、こしょうを入れて混ぜる。①のゆで汁を適量加える。
 - ④ ②と③を鍋に入れ、ゆっくりとかき混ぜながら約20分中火で煮込む。
 - ⑤ マンジョーカ芋の粉を好みのかたさになるまで入れて混ぜる。お好みでタバスコを入れる。
 - ⑥ ご飯にかけてできあがり。
- ※マンジョーカ芋の粉の代用として、小麦粉を水で溶いたものでもできます。

海外都市

交流事業紹介

4月 ワイタケレ市学生海外派遣団来訪
(4/11~4/19)

姉妹都市のニュージーランドから引率者2名と学生10名が加古川市を訪問し、ホームステイをしました。滞在中は、鶴林寺や姫路城を見学したり、座禅や茶道体験をするなど日本の伝統文化に触れました。また、山手中学校を訪問し、生徒たちと一緒に弁当を食べたり、美術の時間には落款を作りました。帰国前日のさよならパーティーでは、日本語でホストファミリーへの手紙を読み、たくさんの思い出とともに帰国しました。

6月 加古川市制60周年記念訪問団
来訪(6/17~6/21)

加古川市制60周年記念式典に参加するために、姉妹都市ブラジル・マリンガ市からフロール・ヅアルデ市文化局長を含む22名の訪問団と、ニュージーランド・ワイタケレ市からボブ・ハーヴェイ市長を含む7名の訪問団が来加されました。

6月 加古川市制60周年記念
姉妹都市紹介写真展
(6/14~6/27)

加古川市が市政60周年を迎えることを記念し、イオン加古川店2階K.S.Dギャラリーにおいて、加古川市の姉妹都市であるブラジル・マリンガ市とニュージーランド・ワイタケレ市をパネル写真で紹介しました。

8月 第20回加古川市中学生
海外派遣(8/5~16)

市内各中学校を代表して、10名の派遣生が今年も姉妹都市ニュージーランド・ワイタケレ市を訪問しました。今年は、ワイタケレ市がオークランド市に合併される前の最後の派遣となりました。到着日、広島原爆の日との記念式典に招待され、昨年加古川市から寄贈された「平和の鐘」を鳴らし、犠牲者に黙祷を捧げました。滞在中はホームステイやさまざまな体験を通じて、現地の人と触れ合い心を通わせることができ、帰国時には一回りも二回りも成長したようです。この貴重な体験と感動を忘れず、国際交流活動の若きリーダーとして、地域社会で活躍してくれることでしょう。

8月

第19回加古川市青年海外派遣 (8/5~15)

市内の青年を姉妹都市のブラジル・マリンガ市へ派遣するこの事業。今年は4名の青年が参加しました。飛行機を乗り継ぎ、約30時間かけて姉妹都市マリンガ市に到着。4日間のホームステイの間、市長表敬訪問や大学・日本語学校など様々な施設を訪問し、マリンガ市の方と交流を深め、素晴らしい思い出を作ることができました。その後、イグアスの滝やリオデジャネイロ市内等を見学し、アメリカ・ニューヨークを経由して帰国しました。



1月

マリンガ市青年海外派遣団来訪 (1/20~24)



亀岡ミルトン団長ほか2名の引率者と6名の青年が来日し、加古川市に滞在しました。青年達は、かつて加古川市からマリンガ市に派遣された青年の家庭等にホームステイし、4日間という短い期間でしたが、交流を深めることができました。滞在中は鶴林寺や市内の施設を見学したり茶道を体験したりして日本の文化を学び、たくさんの思い出とともに帰国しました。

2月

第19回加古川市障がい者 海外派遣 (2/3~10)

今年は8名の派遣生と医師を含む引率8名が、ニュージーランド・オークランド市へ派遣されました。事前研修ではニュージーランドのことやテーブルマナーを学習し、英会話や買い物の練習にも取り組みました。出発の当日は、加古川市教育長や学校の先生方に見送ってもらい、いざニュージーランドへ旅立ちました。現地では、事前研修で学んだことを活かし、オークランド市表敬訪問、乗馬、ヨットセイリングなどたくさんのプログラムに挑戦しました。初めて体験することが多く、とても刺激的な日々でした。また、現地の人々はとても優しく迎えてくれ、充実した8日間を過ごしました。

8月

賛助会員ツアー (8/27~9/2)



今回は25名の方が参加し、ロシアを訪問しました。モスクワ市内ではクレムリンなど歴史ある建造物のある街並みを観光。サンクトペテルブルグでは、世界三大美術館のひとつであるエルミタージュ美術館を見学し見聞を広めました。



特集

加古川市障がい者海外派遣

障がい者海外派遣事業は、平成4年加古川市国際交流協会発足と同時に始まりました。

平成4年度（第1回）は、障がいを持つ一般成人を台湾の台北市と高雄市に、平成5年度（第2回）からは障害をもつ中学3年生をオーストラリアのパースに、また、平成6年度（第3回）からは姉妹都市であったニュージーランドのワイタケレ市に派遣しています。平成22年度までの19年間で、約300名の団員が海外でのさまざまな体験を通じ交流を深めました。

「目的」

障がいをもつ中学3年生が、海外での体験を通じ、国際的視野を広め、また、家族と遠く離れた海外での活動を通し、自立への一歩を踏み出すことを目的としています。

「内容」

①事前研修

外国の人たちに英語であいさつなどができるよう、英会話の練習をしています。また、自分で買い物ができるよう、実際にニュージーランドのお金を使って買い物の練習をしています。さらに、自分で着替え、荷物を整理する練習や派遣生同士の親睦をはかるための宿泊訓練も行っています。

②派遣研修

オークランド市役所の職員の協力により、今までに経験したことのない新たな活動にチャレンジしています。



市役所への表敬訪問では、英語であいさつしたり、事前研修で練習した歌を歌います。



オークランド博物館ではニュージーランドの歴史や文化、自然などを学びます。

自然と触れ合うプログラムでは、ヨットセイリングや



乗馬など海や山の自然を満喫します。

日程の後半にはロトルアに移動し先住民であるマオリ族の歴史や文化を体感します。

③事後研修

派遣生には研修の感想を、また保護者には研修後の派遣生の様子や変化を話してもらう事後研修を行っています。

「今後」

平成4年に姉妹都市提携の調印を行って以来、さまざまな分野で積極的に交流を続けてきたワイタケレ市が、平成22年11月に隣市のオークランド市と合併しました。そのため、今後もこれまでと同様、障がい者海外派遣事業を存続できるか懸念されています。

そんな中、平成23年2月に第19回障がい者海外派遣団がオークランド市を訪問しました。派遣団員は、オークランド市役所を訪問し、加古川市がオークランド市と姉妹都市提携できるよう樽本市長からの手紙を届けてきました。

～在住外国人紹介のページ～

I LOVE KAKOGAWA



今回はスイス・サンクト ガレン出身の男性
にお話をうかがいます。

Q 自己紹介をお願いします。

A Grüezi, 私の名前はSilvan Strübi スィルバン シュトルビです。スイス出身です。2010年9月に来日しました。妻のやすこと息子のれおんとともに土山に住んでいます。よろしくお願いします！

Q 加古川市の印象は？

A 加古川市は都会的な地域と郊外的な地域と両方あります。そして、山へ行くにも海へ行くにもそれほど遠くありません。

Q 日本語はどのようにして覚えましたか？

A 現在、加古川市国際交流協会の「外国人のための日本語講座」に参加しています。クラスでは日本語の指導に熟練した親切な講師の方々が、日本語を一つ一つ着実に習得できるよう丁寧に教えてくれています。また、プライベートレッスンではボランティア講師のまゆみさんに、家庭では妻や義理のお母さんに日本語を教わっています。お世話になっているみなさん、ありがとうございます！

Q 加古川市で生活する中で困ったことはありますか？

A 加古川市で生活するには言葉の壁は特に感じませんが、日本の社会全体としては外国人を受け入れる体制はまだ不十分だと思います。日本が島国として何百年もの間孤立してきたことが影響していると思います。しかし、困難なことがあればいつも私の妻が助けてくれます。また、妻の家族や加古川市に住む親切な人々のおかげで、私の日本での生活はずいぶん楽になりました。

Q 加古川市で生活する中で楽しいことはどんなことですか？

A 私の住んでいる地域は利便性がよく気に入っています。加古川に住んで特によかったと思うことは、家賃がそれほど高くないことです。今一軒家に住んでいますが、もし大阪に住んでいたら同じ金額で、小さなアパートにしか住むことはできなかったでしょう。

Q 今何か夢中になっていることはありますか？

A 1月に生まれたばかりの息子に夢中です。それに、10年以上英語の講師をしている妻と一緒に、英会話の教室を始めたので忙しくしています。また、私はスイスで元々ウェブデザイナーとして働いていましたので、最近日本でもこの仕事を始めました。仕事はとてもおもしろいですし、日本人がどのように仕事をするのか、日本の職場の雰囲気はどうかなどを見るいい機会です。一つだけマイナス面を言えば、大阪まで通



スィルバン シュトルビさんとご家族

勤に電車で2時間かかることです。しかしこれも次第に慣れてくるでしょう。

Q 週末はどのように過ごしていますか？

A 時間がある時は、近所の大中遺跡の近くで行われているお茶会に行ったり、公園に散歩に行くのが好きです。

Q スイスの紹介をお願いします。

A 日本のみなさんにお馴染みのものと言えば、ハイジ、ピーター、マッターホルン（アルプス山脈の一部）、ユングフラウ（アルプス山脈の一部）、チーズ、チョコレート、銀行、時計などでしょう。世界でも有名なコーヒーメーカーのNestlé（ネスレ）や医薬品のNovartis（ノバルティス）もスイスの会社です。

また、政治について、スイスは国民の直接民主制を認める数少ない国のひとつです。国民が発議し、国民による投票で私たちは自由になんでも決めることができるのです。

Q おすすめのスイス料理は？

A みなさんがよく知っているスイス料理はチーズフォンデュでしょうが、チーズを楽しむ料理なら、溶かしたチーズをじゃがいもやピクルスと一緒に食べる「Raclette（ラクレット）」もおすすめです。

また、地ビールを飲みながらサンクト ガレンの「Bratwurst（ブラットブルスト）＝牛のソーセージ」を味わうのもいいですね。Appenzeller Alpenbitter（アッペンツェラー・アルペンビッター）のハーブのリキュールは特におすすめです。

Q どんな夢をもっていますか？

A 家族が健康で穏やかに暮らすことです。

Q 加古川市民へメッセージをお願いします。

A そんなあせらんでもいいやんか！

財団法人加古川市国際交流協会の名称が平成23年4月1日より
「公益財団法人加古川市国際交流協会」に変更になります。

※住所、電話番号は従来どおりです。

新メンバー募集

国際交流センターでは、さまざまな自主グループが活動しており、下記のグループではメンバーを募集しています。詳細は代表者にお問い合わせください。

グループ名	レベル	活動日	代表者 連絡先
1 HAPPY英会話	初級	水 14時～16時	田口 貴子 079-436-4805
2 Infinity English Club	初級	水 19時～20時半	山野 佳代子 090-1226-2361
3 Smile	初級	金 10時～11時	岩本 静子 090-6320-9488
4 Re-study 英会話	初中級	火 10時～11時半	大北 俊寛 090-1594-3272
5 英会話サークル	初中級	水 19時～21時	北村 典子 079-422-2283
6 キーウィズ英会話教室	初中級	木 19時半～21時	坂尻 幸子 079-426-7158
7 L.E.E.	初中級	金 19時～21時	是常 孝子 079-424-4797
8 アルバータ	中級	火 19時半～21時	金田 珠美 f22raptor.tama.0526@gmail.com
9 TWINKLE	中級	金 10時～12時	佐藤 礼子 079-488-4884
10 トラベル英会話	中級	金 19時半～21時	白井 正徳 079-420-3280
11 Friday Tennessee Night	中級	金 19時～21時	金澤 正幸 kanazawa704@hotmail.com
12 Rob's Camp	中級	金 13時半～15時	黒田 千佳子 uchijun1821kuro-dsk@docomo.ne.jp
13 The New ECC	中級	土 10時～11時半	坂田 重雄 090-3860-4417
14 Saturday Chat	中級	土 10時～12時	竹元 弘 079-492-3801
15 茅ヶ崎方式時事英語学習会	中上級	水 9時～12時	野崎 一恵 kazue-noz @sannet.ne.jp
16 EMERALD E.C.C.	上級	水 19時～21時	柿坪 公夫 090-8754-3948
17 万里之長城	初級	土 9時～10時半	荒井 祥光 090-8206-4905
18 こどものための中国語教室 (低学年)	初級	日 13時半～14時半	楊 麗艶 yangliyanjp@hotmail.com
19 こどものための中国語教室 (高学年)	初級	日 14時半～15時半	楊 麗艶 yangliyanjp@hotmail.com
20 中国語初級	初中級	木 9時～10時半	川崎 登司 079-438-0022
21 中国語パートⅡ	初中級	土 10時半～12時	神吉 由美 080-3791-3988
22 楽しく学ぶ中国語講座	中級	木 10時半～12時	三輪 肇一 079-437-2498
23 新々中国語	中級	土 19時～20時半	高橋 俊彦 079-425-1713
24 クミョイル	初級	金 10時半～12時	李 承峰 090-3992-0626
25 加古川イオ	初中級	土 15時～17時	李 承峰 090-3992-0626
26 加古川ハングル講座	初中級	日 10時～12時	山本 祐作 079-428-1055
27 ハングル勉強会	中級	水 13時半～15時	廣田 ちなみ 079-427-6275
28 スヨイル	中級	水 19時～20時半	李 承峰 090-3992-0626
29 スペイン語学習会	初中級	土 10時～12時	永井 道子 090-7097-7856
30 フランス語サークル"プチ・フランセ"	初中級	土 10時～12時	四方 和子 amour-mineto@docomo.ne.jp
31 フランス語サークル"Petit Pas"	初中級	土 13時～15時	小林 悦子 rikiko_17@yahoo.co.jp

テレホンカード・古ハガキの回収

使用済みのプリペイドカード（テレホンカードなど）、古切手、外貨コインを回収しています。ハガキは書き損じなど古いものでも結構です。集まったものは日本国際ボランティアセンターを通じて、東南アジア諸国の復興に役立てられます。協会まで持参いただくか、郵送してください。皆様のご協力をお待ちしております。

賛助会員募集

協会では毎年、国際交流活動や外国人の受け入れ事業など、各種事業をご支援くださる賛助会員を募集しています。会費は事業費の一部として活用させていただきます。

- 年会費
 - 個人 1口 2,000円
 - 団体 1口 5,000円
 - 法人 1口 10,000円
- 申込書
 - 協会事務所、市役所
 - 案内などにあります。
 - 詳しくは協会まで。

*会員には、指定旅行社の優待割引制度、事業参加費の割引などの特典があります。

ボランティア募集

協会の事業をお手伝いして下さるボランティアを募集しています。

- ① 語学ボランティア
 - 各種交流事業での通訳、翻訳
- ② 各種サービスボランティア
 - 日本文化の紹介、外国人への日本語指導など
- ③ ホームステイボランティア
 - 外国人のホームステイ受け入れ

国際交流センター利用案内

国際交流に関する会議、研修、催し等への施設の提供をしています。

- 貸館時間... 午前9時から午後9時まで
(ただし、日曜日は午後5時まで)
- 休館日... 毎週月曜日。(ただし、国民の休日等が月曜日にあたるときはその翌日)
- 使用申込... 利用希望日の2ヶ月前(休館日の場合はその翌日)から申込みを受け付けます。

(公財)加古川市国際交流協会 〒675-0017 加古川市野口町良野387-1
TEL 079-425-1166 FAX 079-425-0200

協会活動の紹介や参加者募集のお知らせを掲載したホームページを公開しています。ぜひご覧ください。

ホームページアドレス: <http://www.city.kakogawa.hyogo.jp/hp/kokusai/index.htm>

E-MAIL: kia@city.kakogawa.hyogo.jp

2011年4月発行